

2016年10月期 決算説明会

2016年12月21日

 **クミアイ化学工業株式会社**

本日のアジェンダ

I. 市場環境

II. 2016年10月期 実績

III. 2017年10月期 事業計画

IV. 成長戦略

I. 市場環境

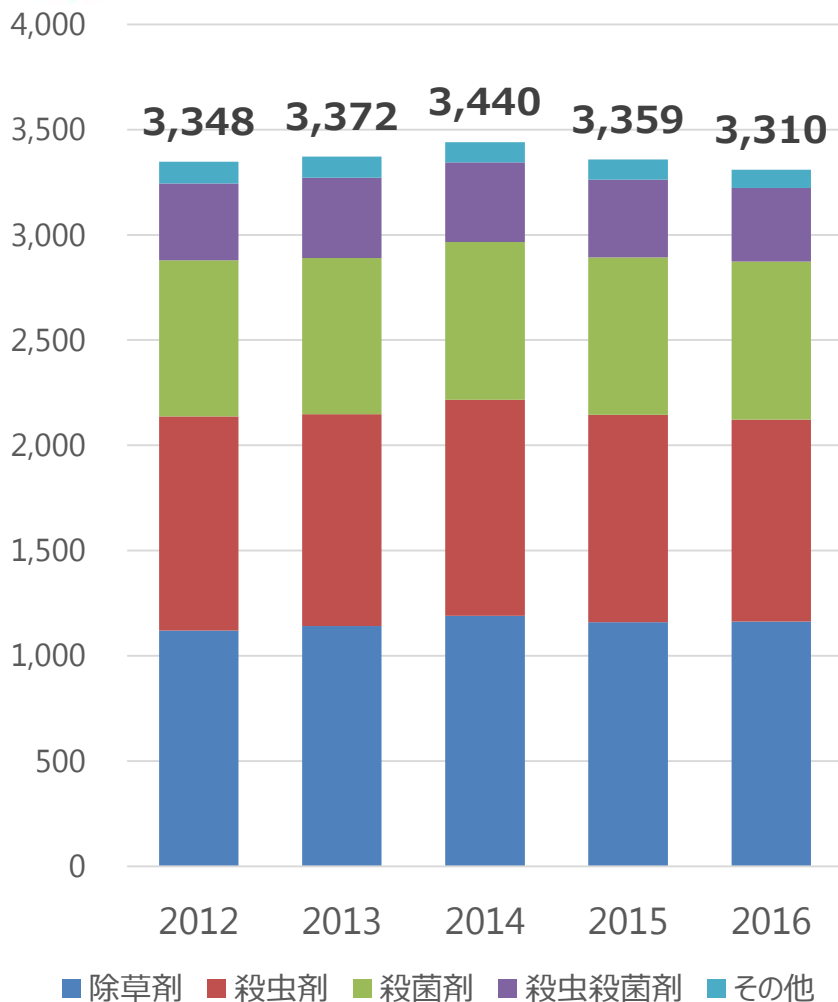
II. 2016年10月期 実績

III. 2017年10月期 事業計画

IV. 成長戦略

国内農薬市場の動向

[億円]



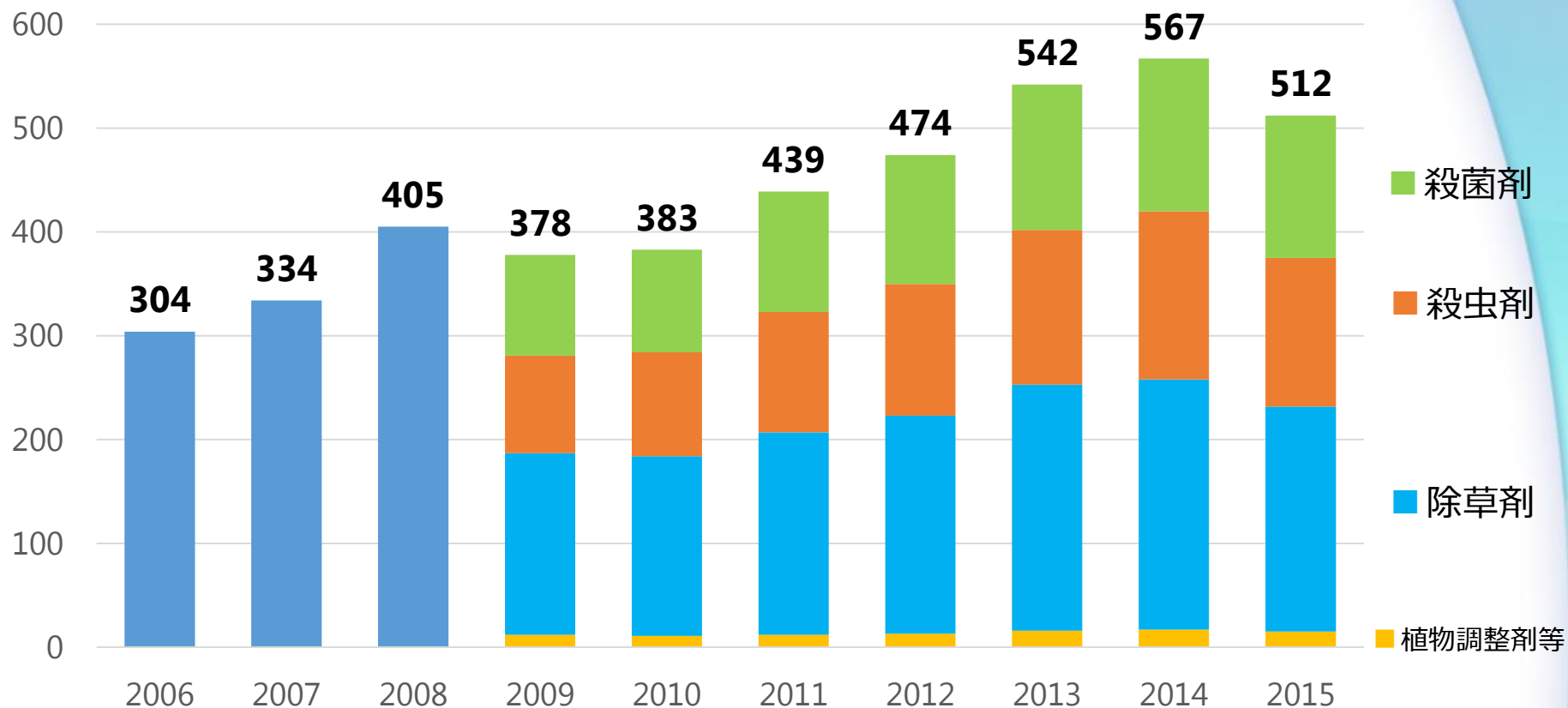
出典：農薬工業会
国内農薬出荷金額

- **市場は横這い~やや減少**
- **規制改革推進会議、未来投資会議**
 - **農業生産資材価格引き下げの施策**
 - **全農 購買事業の見直し**
- **米次期大統領TPP不参加を表明**

世界の農薬市場の動向

[億ドル]

世界市場は拡大傾向 特に新興国市場の需要拡大



種子・バイテク製品を除く

出典 : Phillips McDougall

市場環境まとめ

国内

- ほぼ横ばいで推移
- 政府規制改革推進会議等による影響注視

海外

- 新興地域需要による拡大継続
- ジェネリックとの競合
- 農薬規制強化の流れ

I. 市場環境

II. 2016年10月期 実績

III. 2017年10月期 事業計画

IV. 成長戦略

連結業績(2016年10月期) 前年実績比

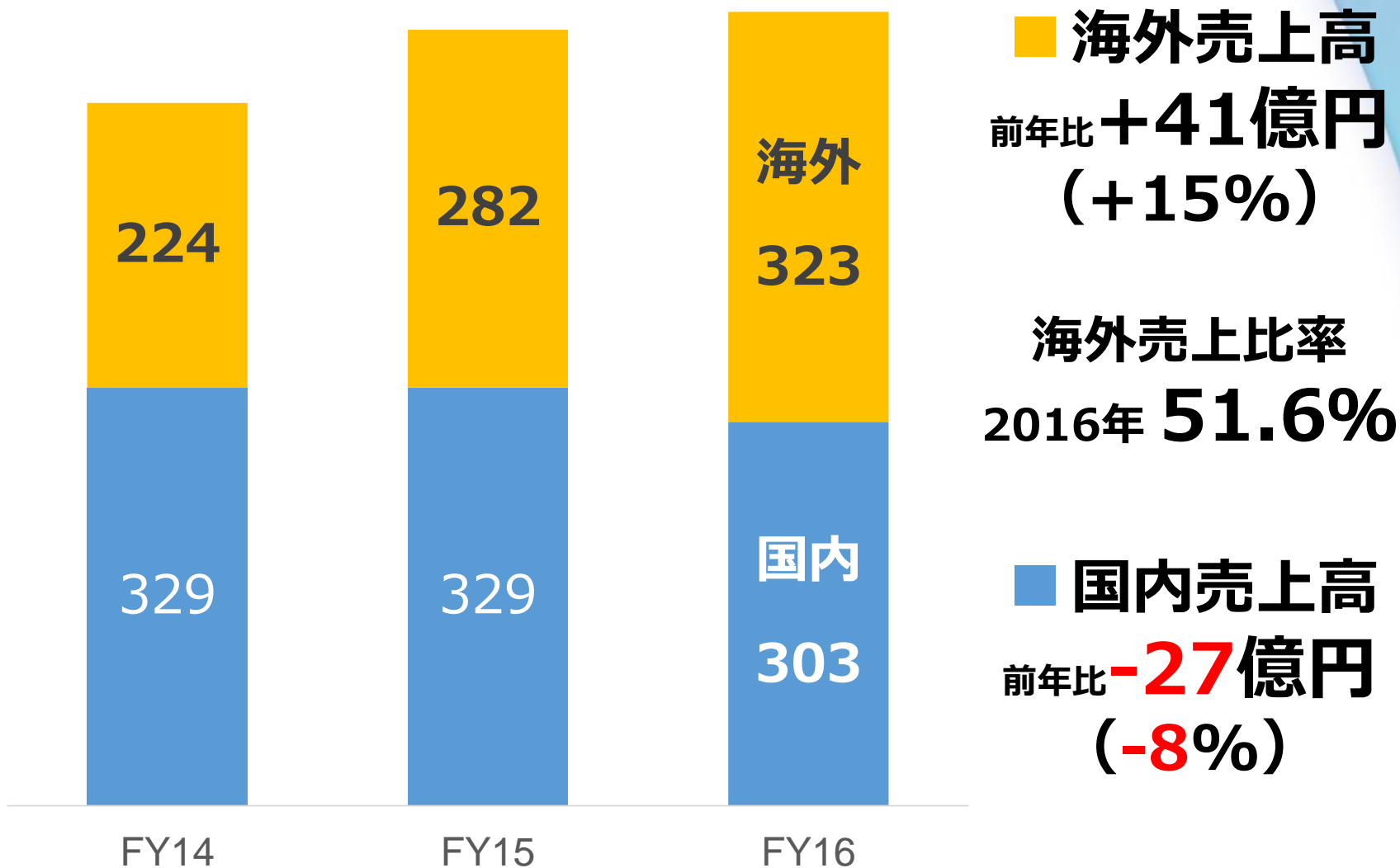
[億円]

	2015 実績	2016 実績	増減額	増減率
売上高	611	625	+14	+2.3%
営業利益	37	23	-15	-39.1%
経常利益	81	45	-36	-44.5%
当期 純利益*	66	34	-31	-47.8%

*親会社株主に帰属する当期純利益

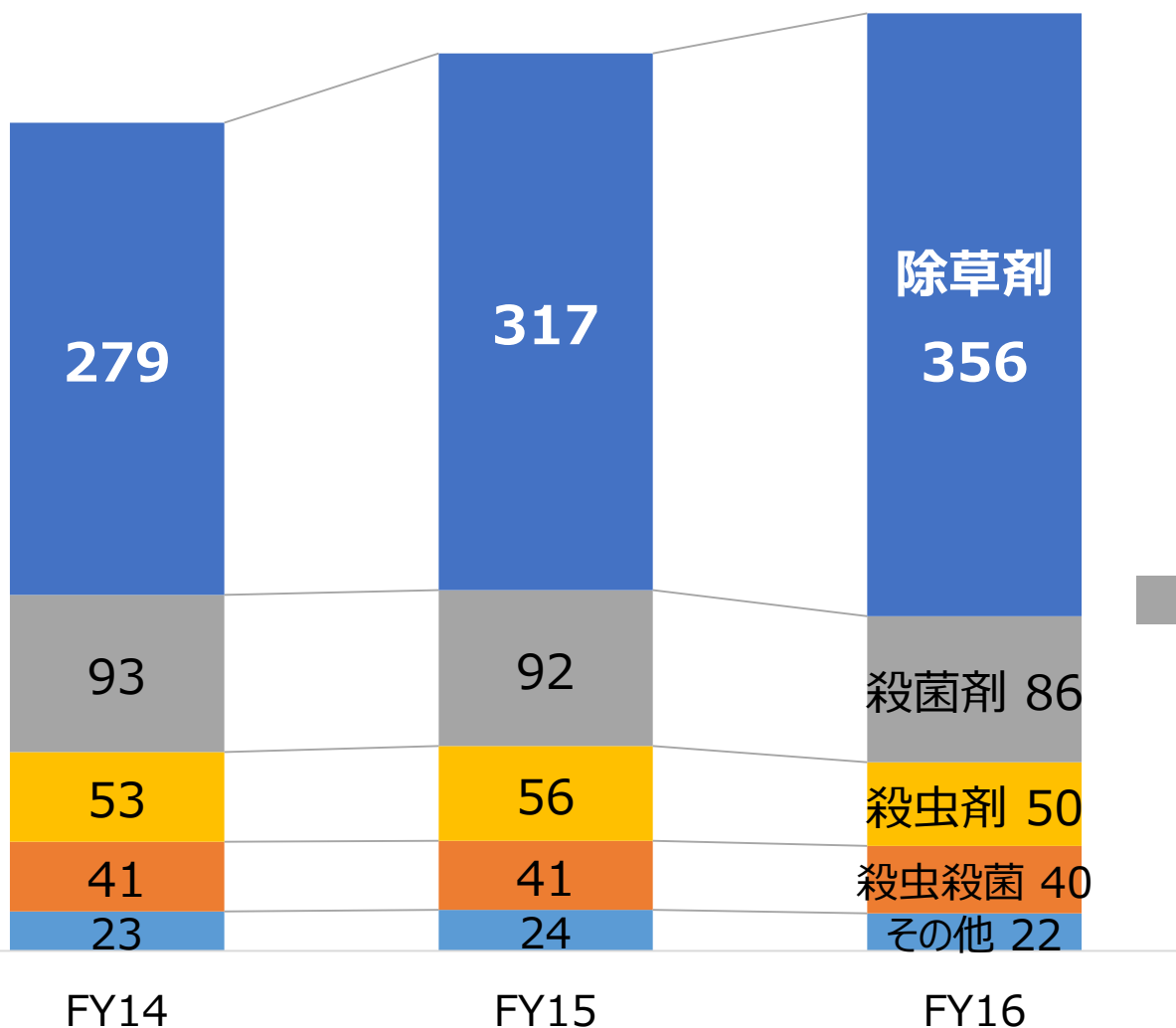
地域別売上高(連結)

[億円]



用途別売上高(農薬化学品, 個別)

[億円]



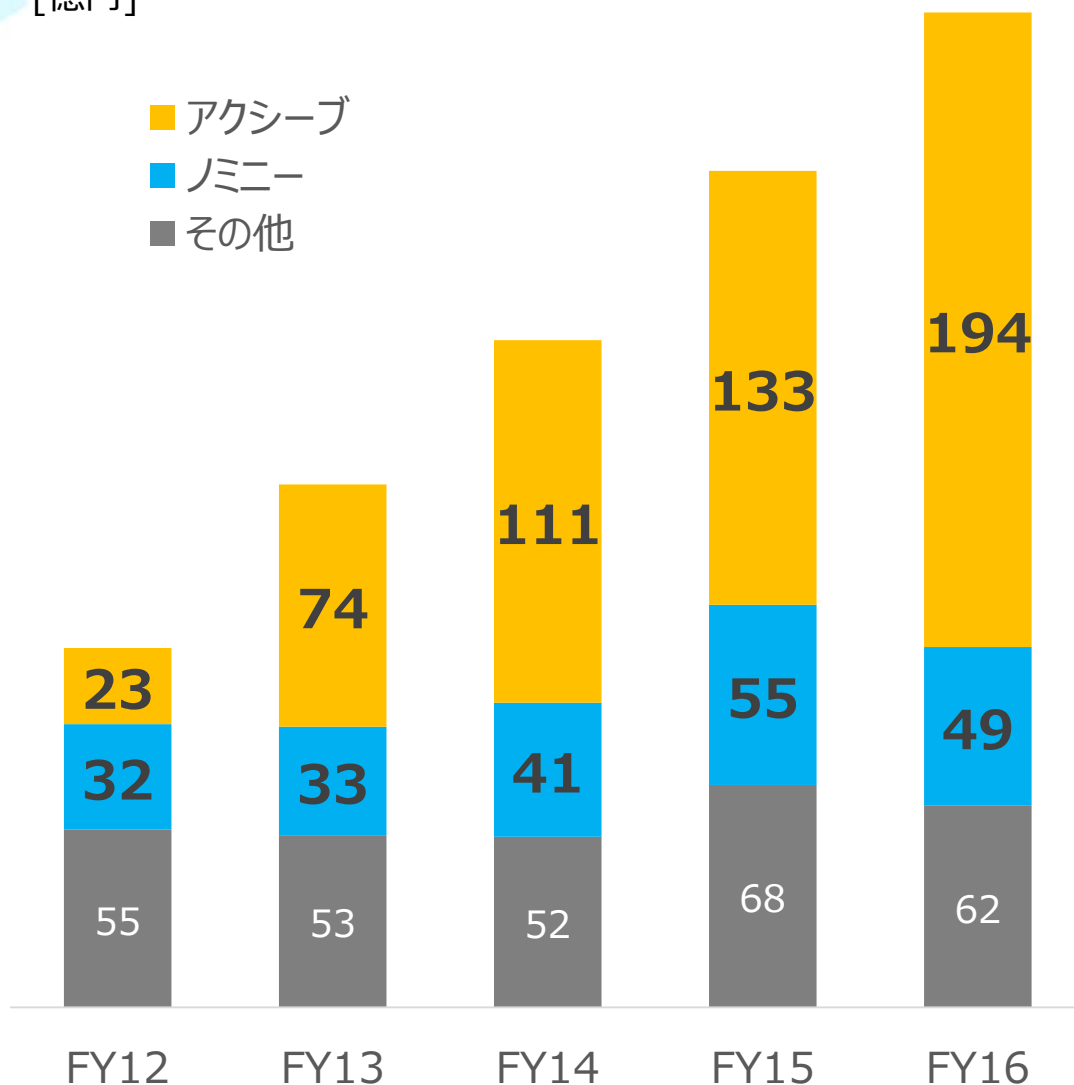
■ 除草剤
前年比
+39億円
(+12%)

■ 殺菌剤 ■ 殺虫剤
前年比
-6, -6億円
(-6, -12%)

海外原体別売上高(個別)

[億円]

- アクシーブ
- ノミニー
- その他



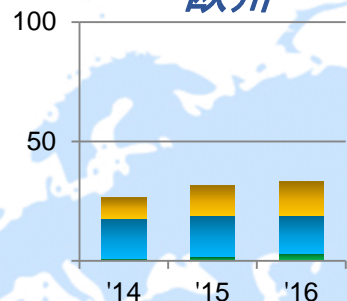
■ **アクシーブ**(畑用除草剤)
前年比**+61億円**
(+46%)

■ **ノミニー**(水稲用除草剤)
前年比**-6億円**
(-12%)

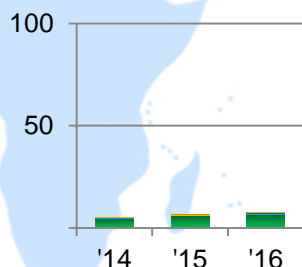
海外地域別・種類別売上高(個別)

[億円]

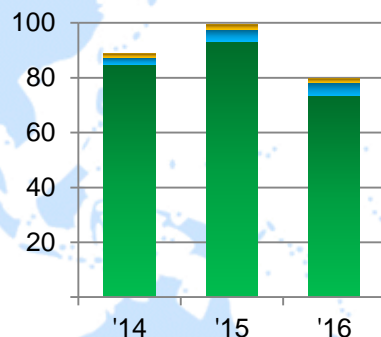
欧州



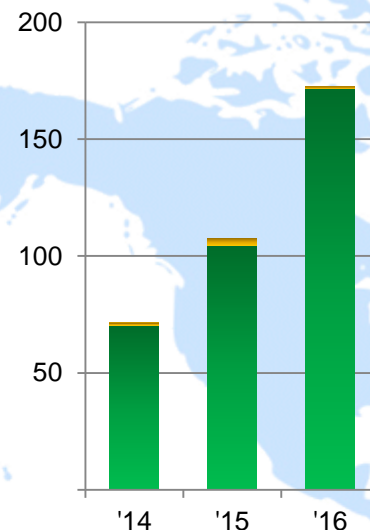
中近東・アフリカ



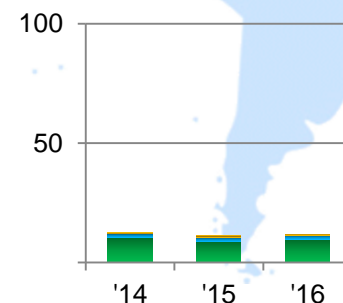
アジア・オセアニア (国内除く)



北米



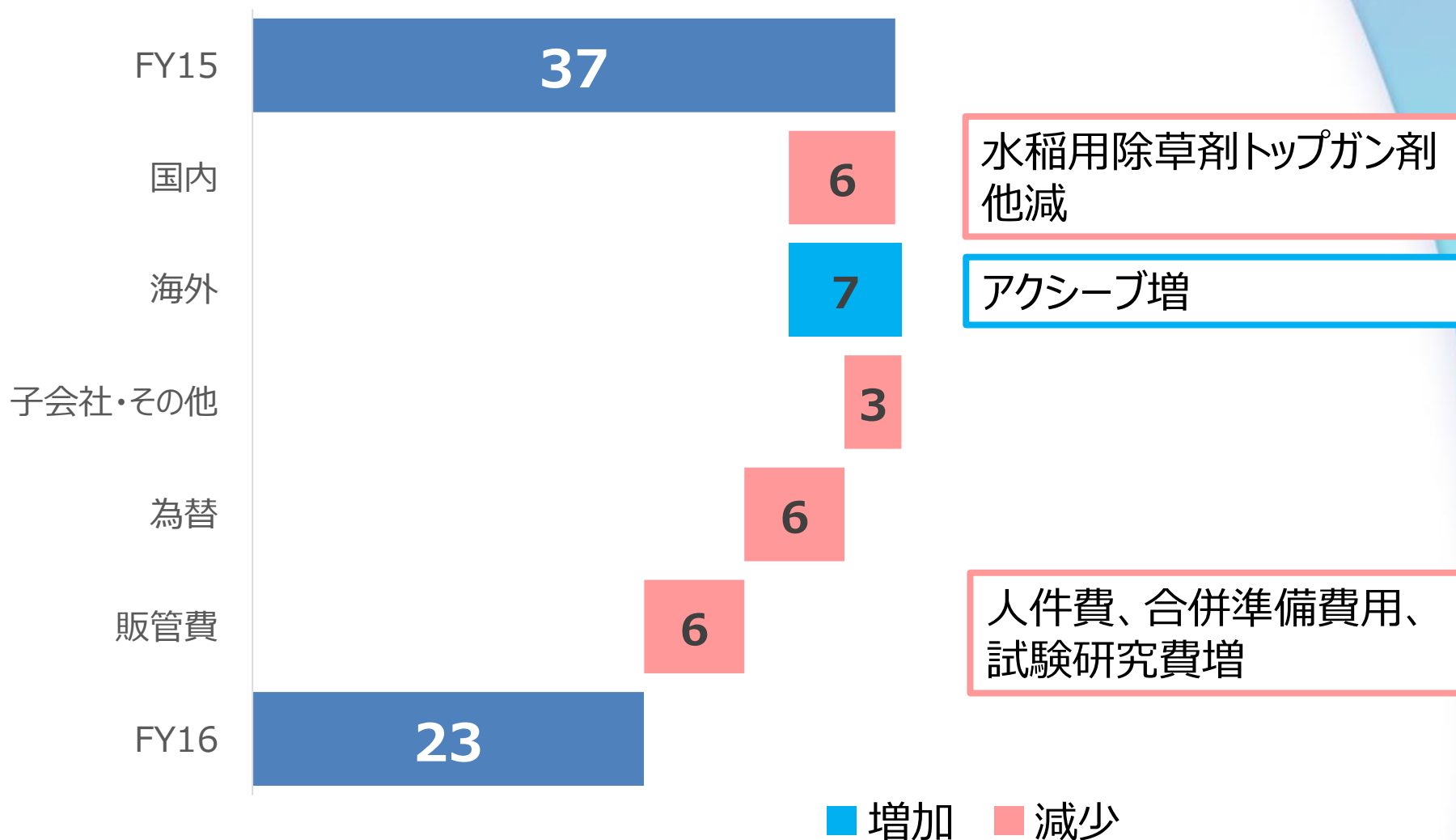
南米



■ 除草剤 ■ 殺菌剤 ■ 植物調整剤等

営業利益増減(2015-2016年実績)

[億円]



2016年10月期 販売概況

国内

- 水稲用除草剤の他社剤との厳しい競合で売上減
- 水稲用除草剤フェノキサスルホン剤販売2年目
- 水稲箱処理剤イソチアニル剤売上増
- 園芸用殺虫剤、殺菌剤売上減

海外

- 畑作用除草剤アクシーブ剤の米国売上増加
- 水稲用除草剤ノミニーの売上減、販売数量過去最大
- ジェネリックとの競合（インドでのノミニー）

I. 市場環境

II. 2016年10月期 実績

III. 2017年10月期 事業計画

IV. 成長戦略

連結業績予想(2017年10月期末、半期)

[億円]	2016 Q4実績	2017 Q4予想	増減額	2016 Q2実績	2017 Q2予想	増減額
売上高	625	630	+5	412	347	-65
営業利益	23	20	-3	34	22	-12
経常利益	45	41	-4	44	36	-8
当期純利益*	34	31	-3	31	26	-5
ROE(%)	6.4	5.7				

*親会社株主に帰属する当期純利益

為替レート 2016年実績: ¥110.3/US\$, ¥121.4/€
 2017年計画: ¥102/US\$, ¥114/€

海外売上:2016年Q2アクシーブ・ノミニー前傾出荷 → 2017年 後傾出荷

販管費: 合併準備費用計上、試験研究費増加(フェノトリカ、ジクハベンチアゾクス)

自社開発主要品目の売上計画(前年比)

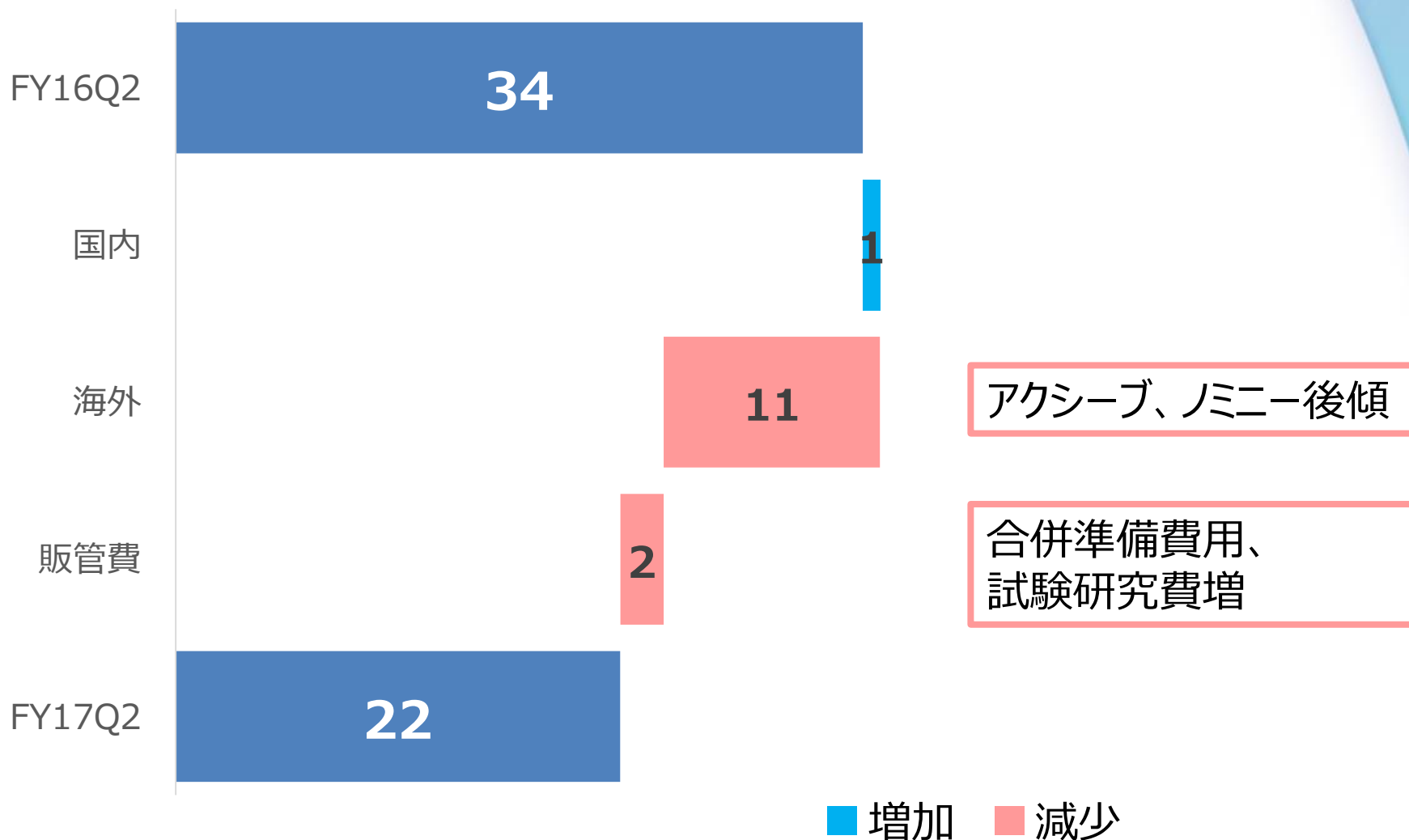
地域	用途	原体	代表品目	売上計画 前年比率
国内	水稻除草剤	ピリミスルファン フェノキサスルホン	ガンガン・ベンケイ・ ヤブサメ	☆☆☆
		ピリミノバックメチル	トップガン	★
	園芸殺菌剤	ピリベンカルブ	ファンタジスタ	☆
		ベンチアバリカルブ	プロポーズ	☆☆☆
海外	畑作除草剤	アクシーブ (ピロキサスルホン)	原体販売	☆
	水稻除草剤	ビスピリバックNa	ノミニー・原体販売	★★
	植物調整剤	プロヘキサジオンCa	原体販売	★

☆☆☆ > +30%, ☆☆ +20~30%, ☆ +5~20%, ★ ±5%, ★★ -5~20%

為替レート 2016年実績: ¥110.3/US\$, ¥121.4/€; 2017年計画: ¥102/US\$, ¥114/€

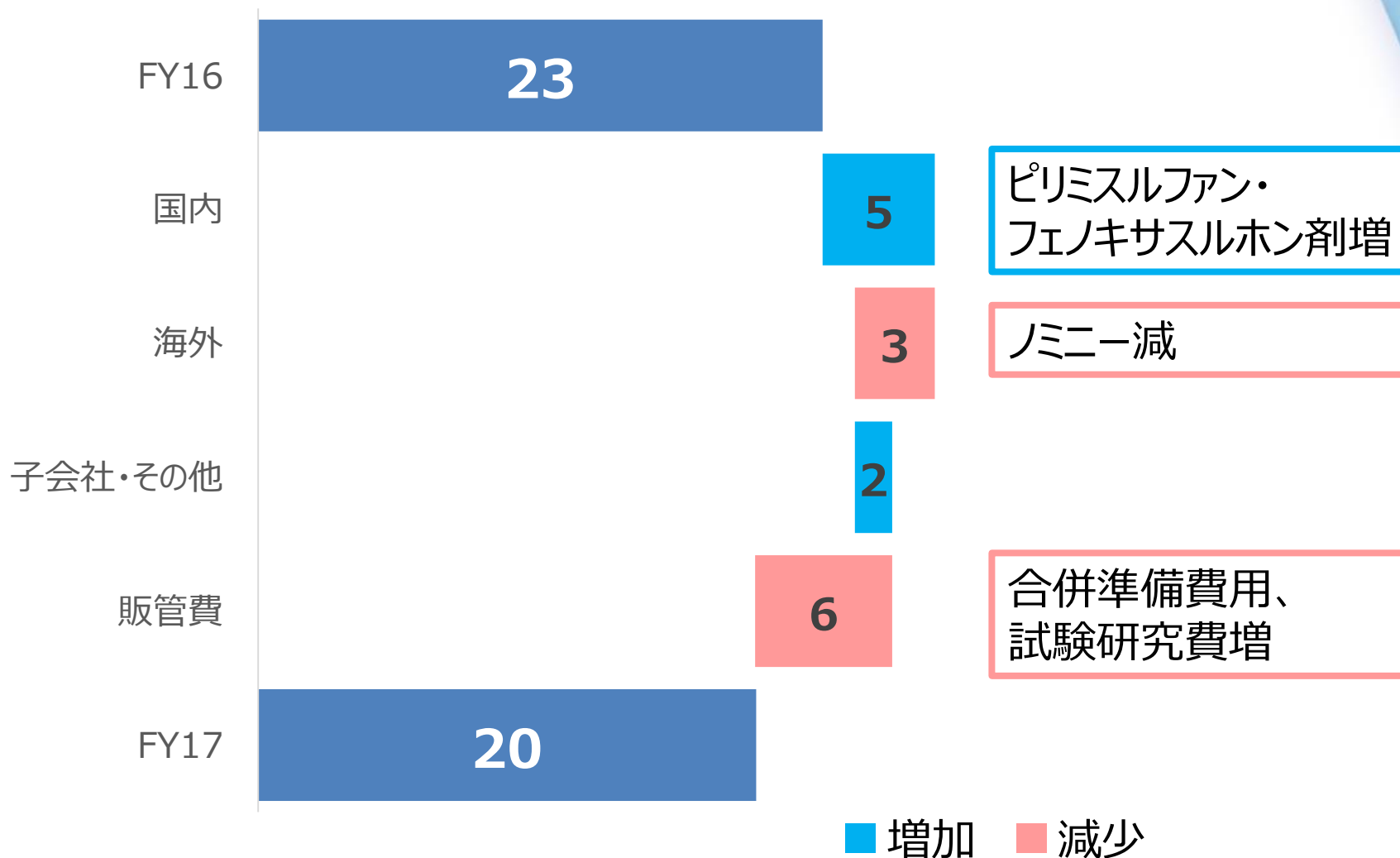
営業利益増減(2016Q2-2017Q2予想)

[億円]



営業利益増減(2016期末-2017予想)

[億円]



今後の取り組み

国内

- 2016年フェノキサスルホン剤は全農の共同推進品目に選定
 - 全農とタイアップして各地域の次年度防除暦・注文書への採用活動が活発化
 - 水稻一発除草剤シェア回復が期待される

海外

- アクシーブ剤販社への販売支援活動を強化
 - リベートプログラム、新規混合剤・製剤開発
- ノミニーは販社と連携したジェネリック対策の推進
 - 価格対応、混合剤の開発

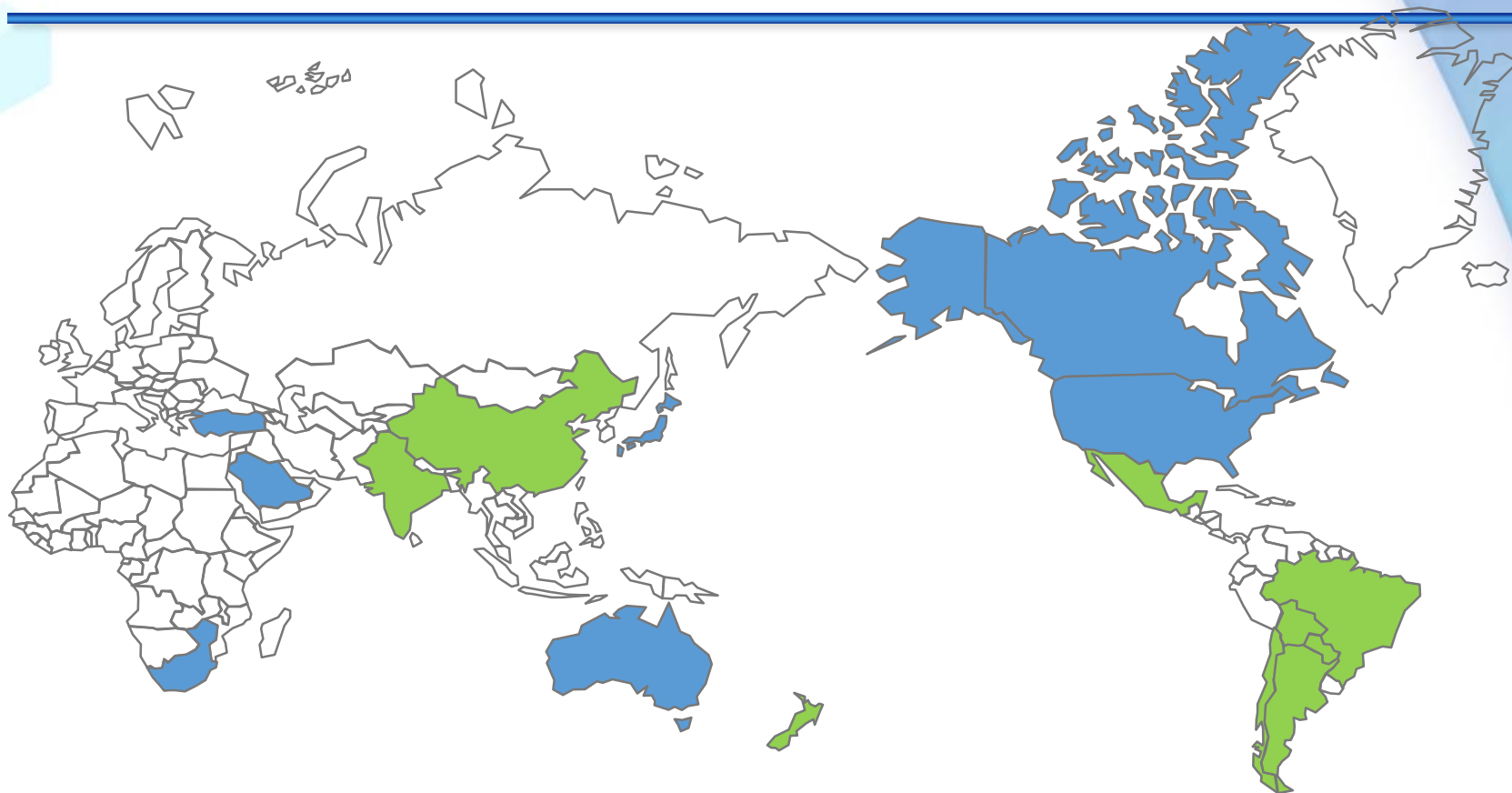
I. 市場環境

II. 2016年10月期 実績

III. 2017年10月期 事業計画

IV. 成長戦略

アクション開発状況



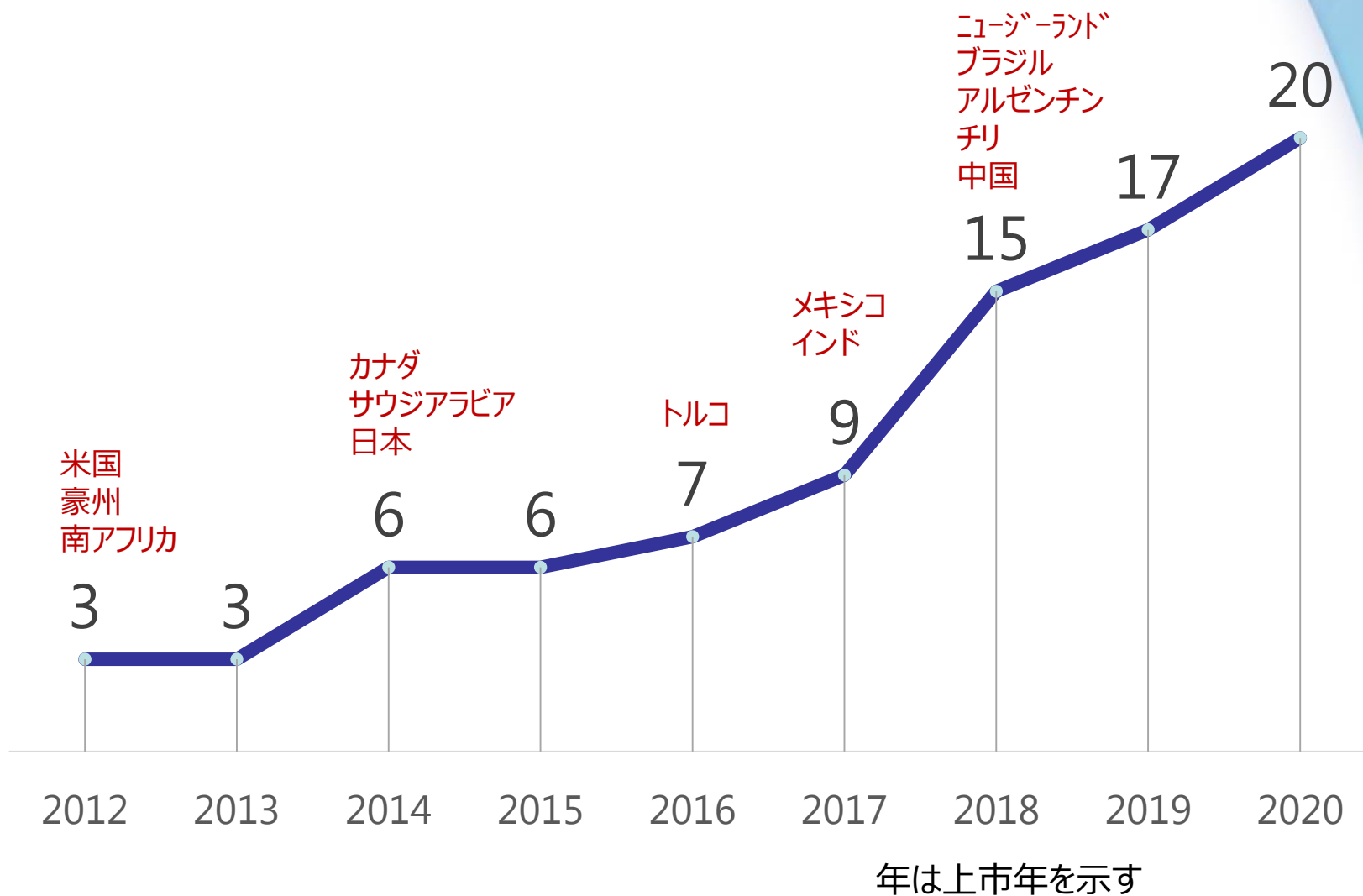
■ 登録取得 (7)

■ 開発中 (9)

・適用作物 (予定含む)
ムギ類、トウモロコシ、ダイズ、ワタ、サトウキビ、ヒマワリ、
バレイショ、タマネギ、ラッカセイ、アルファルファ等

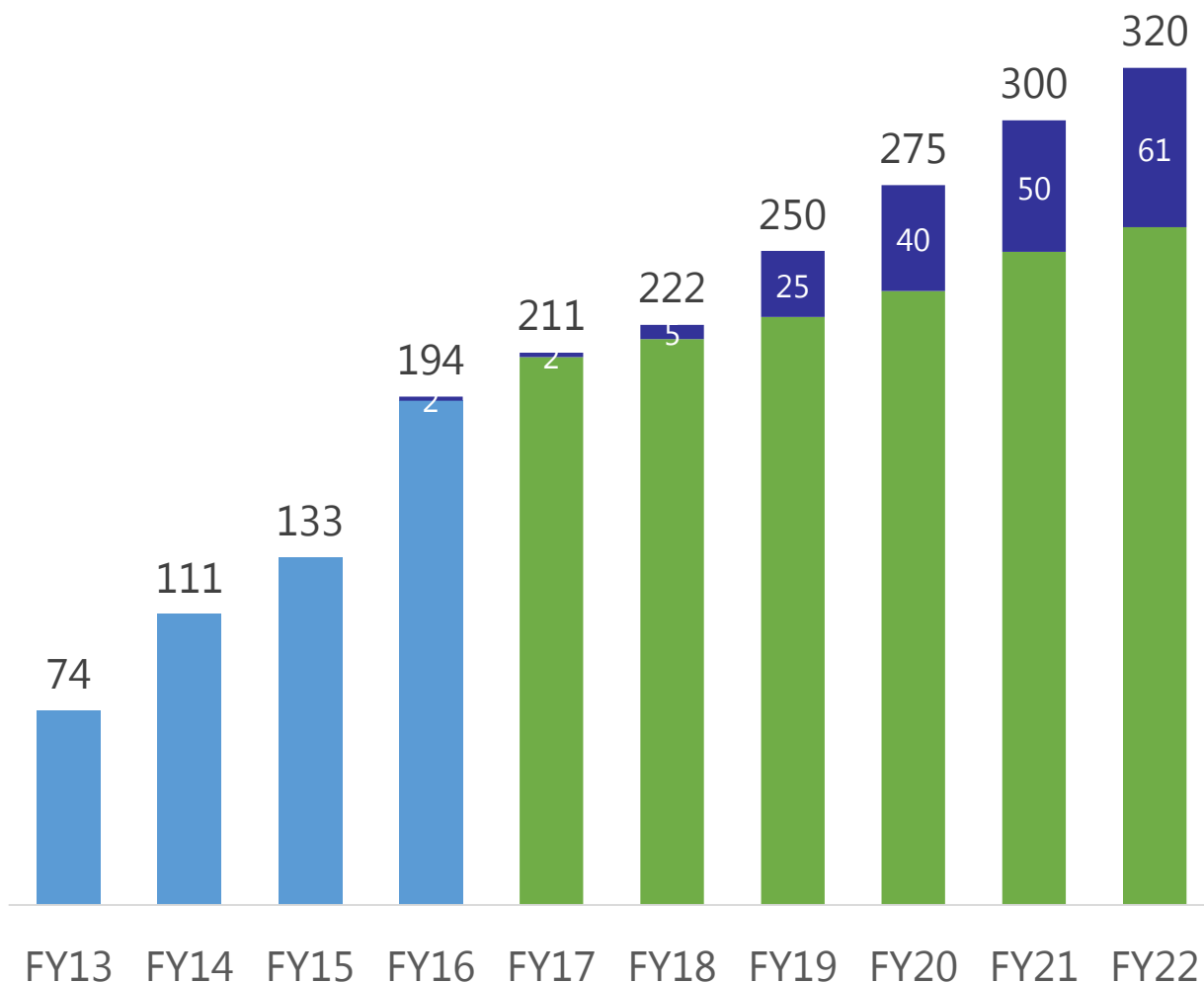
アクシーブ上市国数(計画)

[国数]



アクシーブ海外売上実績・計画

[億円]



■ 新興国市場での
売上拡大
インド・トルコ・ブラジル・
チリ・アルゼンチン

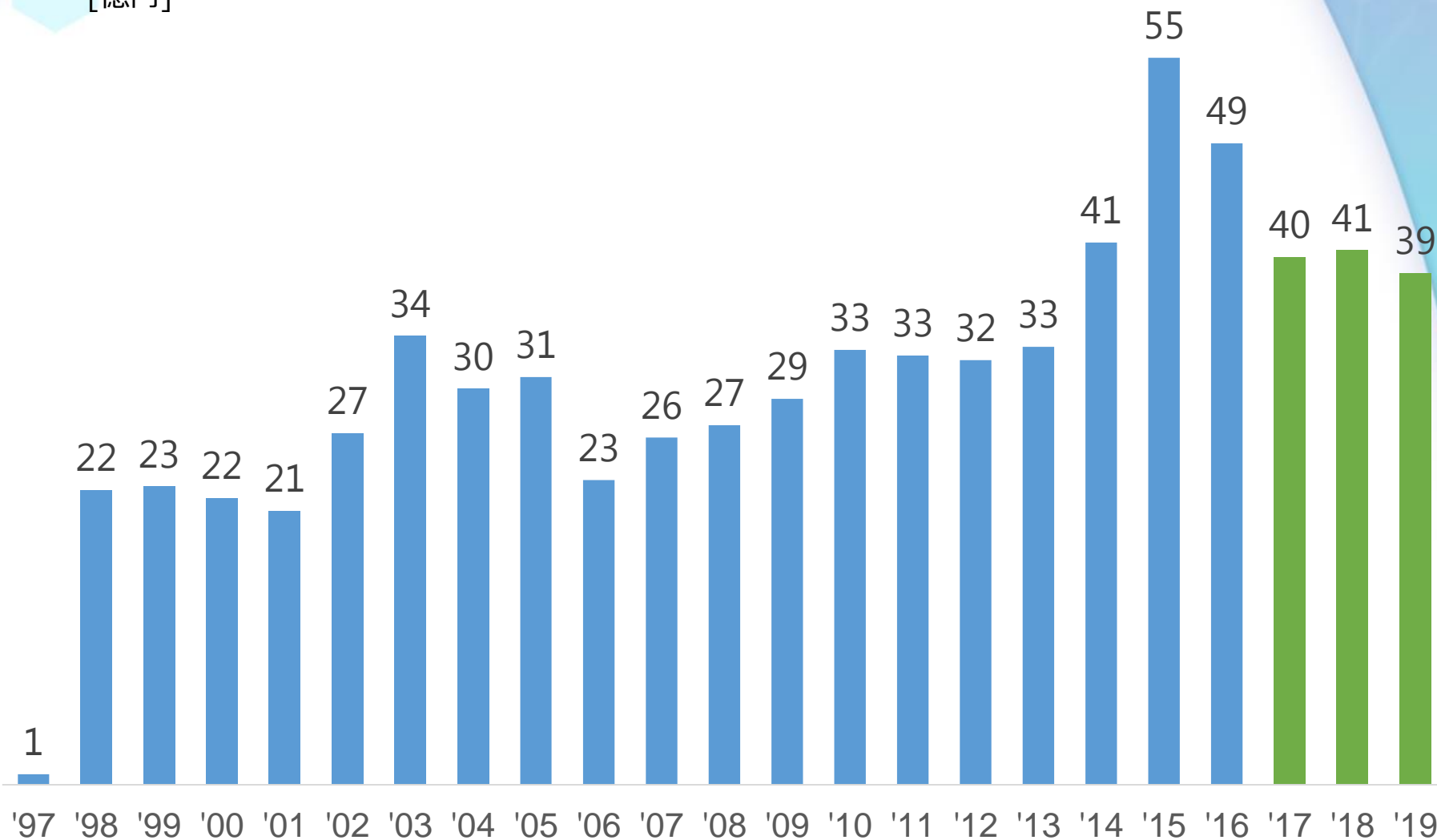
2016年実績為替レート
(¥110.3/US\$, ¥121.4/€)

2017年計画為替レート
(¥102/US\$, ¥114/€)

■ 新興国合計

7-Eleven 海外売上実績・計画

[億円]



為替レート 2016年実績: ¥110.3/US\$, ¥121.4/€; 2017年計画: ¥102/US\$, ¥114/€

ノミニー ジェネリック品、抵抗性雑草対策

現地販社への技術支援

- 他剤と組み合わせた使用方法の提案
- 販売員や農家への技術指導

混合剤の開発

- 他社剤との混合剤開発

プライベートブランドでの販売

- 販路拡大、早期の販売最大化、ジェネリック品取扱抑制

価格対応

- 市場価格に応じた値下げ

クミカの水稲用除草剤ポートフォリオ

フェノキサスルホン剤ラインナップ

クミスター
ガンガン

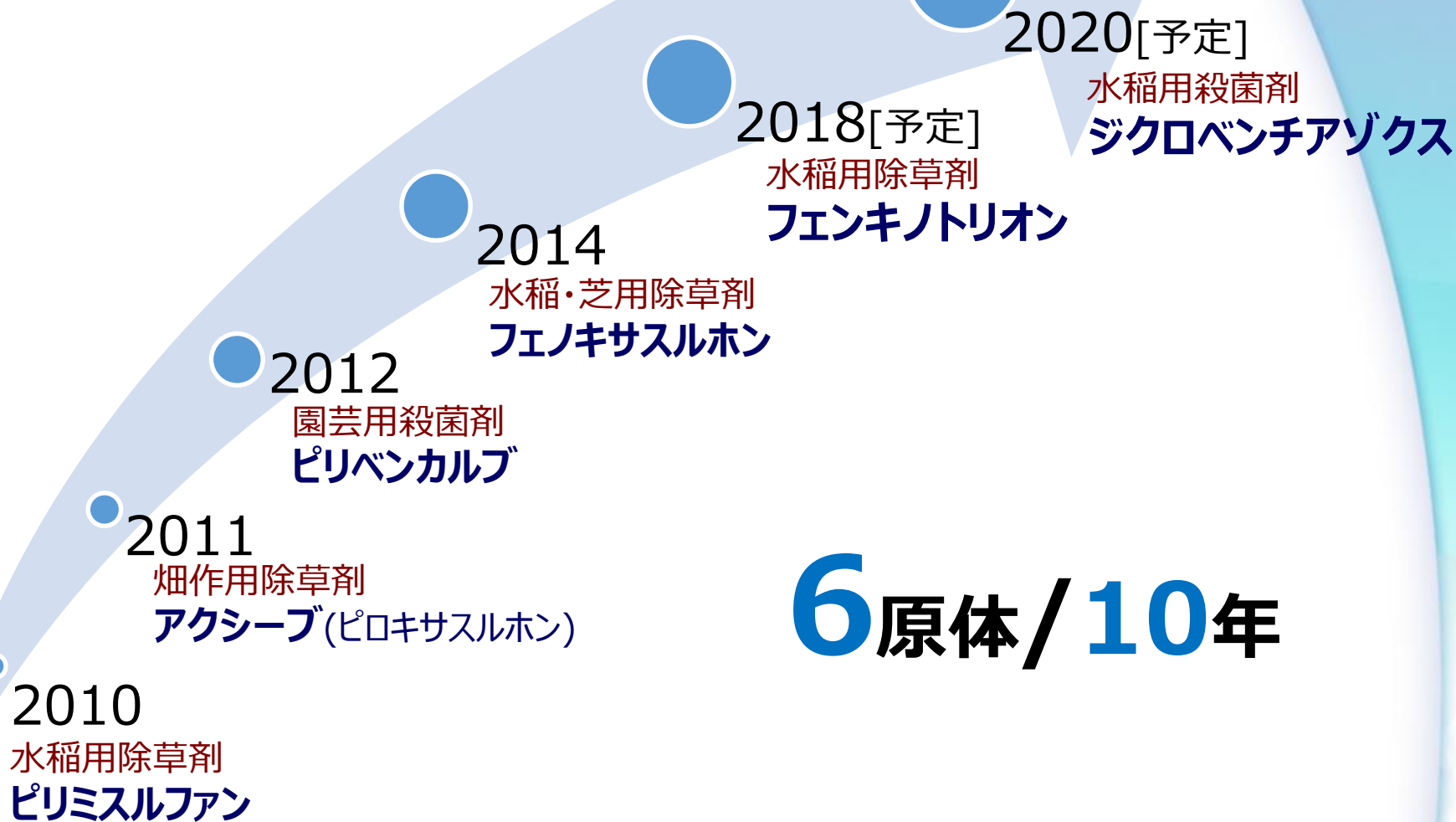


ベンケイ
ヤブサメ

フェンキトリオン(登録申請中)の特長と将来性

- SU抵抗性雑草含む、幅広い水稲雑草に対応
- 水稲に対する高い安全性
- 自社原体のみによる混合剤開発が可能となる

クミカの新規剤パイプライン



6原体 / **10**年

各原体の年は初登録年を示す

コア・コンピタンス

継続的な原体開発力

- 水稲用除草剤を中心にこれまで**17原体**を開発・上市

独自性の高い製品（オンリーワン技術品目）

- 独自省力化製剤 **豆つぶ剤**
- ドリフト低減製剤 **微粒剤F**
- 微生物農薬 **エコ・クリーンシリーズ**



豆つぶ剤



微粒剤F



エコシリーズ



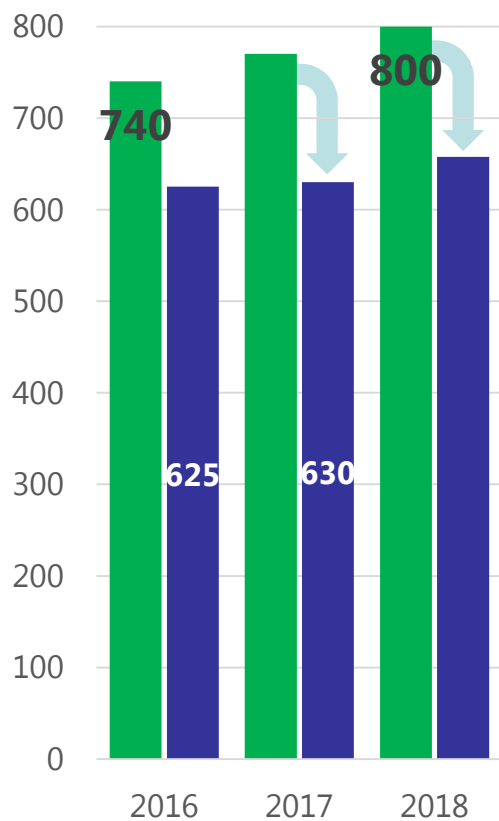
クリーンシリーズ

中期経営計画

クミアイ化学工業

イハラケミカル工業

[億円]



統合
新会社

2017年5月1日合併 (予定)

新経営計画策定

■ 中計予算 ■ 実績/更改予算

イハラケミカル工業との 経営統合について

統合の目的と目標(1)

販売：国内市場

- マーケティング機能の強化
- 選択と集中による自社開発新規剤の普及・拡販の推進

販売：海外市場

- 販売・マーケティング機能の強化、販売拡大

研究開発

- 新農薬の創製力向上とスピードアップ
- 自社開発剤のコスト低減

統合の目的と目標(2)

生産・調達

- 相乗効果を最大限に発揮し、事業競争力の強化を図る

化成品事業

- 有機合成技術を駆使した事業領域拡大

コスト低減施策

- 各種インフラの共有化・標準化等によるコスト削減
- ITシステムや資金財務管理の一元化

コーポレートガバナンスの強化

- 内部統制システムの確実な運用と、コーポレートガバナンスへの対応

統合の要旨

統合の方式

- 両社の株主総会での承認を前提とし、両社対等の精神での合併といたしますが、合併の手続き上、クミアイ化学工業を吸収合併存続会社、イハラケミカル工業を吸収合併消滅会社とする吸収合併方式といたします。

合併に係る合併比率

- 本合併に係る合併比率は、クミアイ化学工業の1に対して、イハラケミカル工業を**1.57**といたします。

統合の日程

日程	内容
2016年9月20日	基本合意書の締結
2016年12月16日	合併契約承認取締役会（両社）
2016年12月16日	合併契約の締結
2017年1月下旬	合併契約承認株主総会（両社）
2017年5月1日	合併期日（効力発生日）

なお、今後、手続きを進める中で、やむを得ない状況が生じた場合は、両社協議の上、日程を変更する場合があります。

参考資料

会社情報

基本情報

会社名	クミアイ化学工業株式会社
事業内容	農薬の製造・販売、不動産賃貸、 その他（発電および売電）
証券コード	4996
上場市場	東証1部
本社所在地	東京都台東区池之端
資本金	45億円
設立	1949(昭和24)年6月
	1928(昭和3)年、現在の静岡市清水区に農薬製造業として柑橘同業組合を開設したのを事業の始めとして、1949年、株式会社組織に変更、 庵原農薬株式会社 を設立。

グループ企業基本理念

- 私たちは創造する科学を通じて「いのちと自然」を守り育てることをメインテーマとし、安全・安心で豊かな社会の実現に貢献します。

行動指針

- 社会への奉仕
- 創意工夫
- 積極にして果敢
- 理解と信頼

クミカの特長

クミカの特長

- **農薬**の研究開発～製造～販売を一貫して行う**研究開発型企业**
- クミカ-イハラケミカル工業-ケイ・アイ研究所が連携して**独自農薬**を創製し、グローバルで開発（**これまでに17剤を開発・上市**）
- 北米、南米、欧州、アジアに拠点・関連会社を置く
- 国内では**系統販売 全農**と協力し、JAを通じて農家に販売
- **除草剤**（特に水稲用）に強み **生物農薬・独自製剤**にも特長

クミカ-イハラケミカル自社開発剤

	登録	用途	名称
1	1959	殺菌剤	MAF
2	1964	殺菌剤	IBP
3	1969	除草剤	ベンチオカーブ
4	1975	除草剤	オルベンカルブ
5	1981	殺菌剤	メプロニル
6	1986	殺虫剤	フェノチオカルブ
7	1994	植調剤	プロヘキサジオンCa
8	1995	除草剤	ピリチオバックNa
9	1995	殺菌剤	メパニピリム
10	1996	除草剤	ピリミノバックメチル

	登録	用途	名称
11	1997	除草剤	ビスピリバックNa
12	2002	除草剤	フルチアセットメチル
13	2007	殺菌剤	ベンチアバリカルブ
14	2010	除草剤	ピリミスルファン
15	2011	除草剤	アクシーブ
16	2012	殺菌剤	ピリベンカルブ
17	2014	除草剤	フェノキサスルホン
18	申請中	除草剤	フェンキノトリオン
19	開発中	殺菌剤	ジクロベンチアゾクス

1981年 ケイ・アイ研究所設立

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>

クミアイ化学工業株式会社
総務部 総務課 (IR担当)

TEL: 03-3822-5036

FAX: 03-3823-6830

E-Mail: soumu@kumiai-chem.co.jp

弊社IRサイトもご覧ください <http://ir.kumiai-chem.co.jp/>